

## 地域の居場所づくりに関する実態調査 2024

### 〈協力依頼〉

東京ボランティア・市民活動センターでは、これまで地域の居場所の調査研究を実施し、地域の居場所支援に取り組む中間支援組織の支援を行ってきました。

本調査は、調査対象を1都3県に拡大し、地域づくりにおいて中間支援的な機能を担う組織に対し協力をお願いしています。

地域の居場所への支援の広がりとともに支援の現状及び課題を把握し、居場所支援のさらなる充実や各組織間の連携体制の可能性などを探り、孤立の防止やつながりづくりの一助となるよう提言につなげたいと考え、本調査を実施します。

### 〈構成〉

本調査は以下のような構成となっています。

#### I 貴団体の概要について

#### II 貴団体の居場所づくりの支援について

II-1 支援の有無について II-2 支援体制について II-3 支援内容について

#### III 支援している居場所とその周辺の状況について

各設問は以下の形式となっています。

- ・○印の記入・チェックボックス：各設問の指示により、1つ又は複数の回答をご記入ください。(最大16問)
- ・自由記述(数字・単語等での記述：最大9問、文章での記述：最大33問)
- ・アップロード：参考資料がある場合アップロードいただく設問です。(最大2問)

アップロードが難しい場合は郵送での提出も可能です。

宛先：東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 10F

### 〈調査対象〉

1都3県(千葉県・神奈川県・埼玉県)の中間支援組織

貴団体にて、部署単位で中間支援を行われている場合は、該当部署に調査依頼をお願いいたします。

法人	法人	団体名	
部署名		担当者名	
Tel		E-mail	

## I 貴団体の概要について

設問1 貴団体の事業が対象としている地域の規模についてご回答ください。

		○印記入欄
①	全国	
②	都道府県	
③	政令指定都市	
④	市区町村（政令指定都市以外）	
⑤	広域（複数の自治体をまたぐ）	
⑥	その他	

「⑤広域（複数の自治体をまたぐ）」、「⑥その他」と回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

設問2 貴団体の事務所の所在地をご回答ください。（支所がある場合は本部の所在地をご回答ください。）

\_\_\_\_\_ 都・県 \_\_\_\_\_ 市・区・町・村

設問3 貴団体の設立年（法人格の取得時期に関わらず、事業開始年をご回答ください。）

\_\_\_\_\_ (西暦) \_\_\_\_\_ 年

## II 貴団体の居場所づくりの支援について

### II-1 支援の有無について

設問1 貴団体では居場所づくりの支援を行っていますか。

		○印記入欄
①	行っている（組織の主な事業として）	
②	行っている（事業の一部として）	
③	行っていない（今後行うことを検討中）	
④	行っていない（今後行う予定はない）	

設問1で「①行っている（組織の主な事業として）」②行っている（事業の一部として）」と

回答いただいた場合

設問3へお進みください。

設問1で「③行っていない（今後行うことを検討中）」と回答いただいた場合

具体的な計画がありましたらご記入ください。

（自由記述）

設問1で「④行っていない（今後行う予定はない）」と回答いただいた場合

理由がありましたらご記入ください。

（自由記述）

設問2 鑑文に記載の通り、本調査では、居場所が地域の多様な人たちが孤立しないためのひとつの方法になり得ると考えています。貴団体において、孤立している/しそうな人に対して、できることや、つながりづくりに対する考えがありましたらお聞かせください。

(自由記述)

調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

設問3

(1) 貴団体では、支援に取り組む対象である事業上の居場所を総称としてどのように呼んでいますか。特に総称がなければ「なし」とご記入ください。

例) 地域共生のいえ/まちのお茶の間/おでかけ広場

(自由記述)

(2) (1) の居場所をどのように定義していますか。

(自由記述)

設問4 貴団体に支援している居場所のおおよその数をご回答ください。

\_\_\_\_\_ヶ所

## II-2 支援体制について

設問1 居場所支援事業の予算（総予算のうち居場所支援に充てることのできる金額）についてご記入ください。

年間 \_\_\_\_\_ 万円

設問2 支援に関わる人数についてご記入ください。

\_\_\_\_\_ 名

設問3 貴団体の居場所支援に関わる職員が持つ専門性・資格等について、当てはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）

		○印記入欄
①	福祉に関する専門性・資格等（社会福祉士・精神保健福祉士等）	
②	ボランティア・市民活動等に関する専門性・資格等（ボランティアコーディネーター等）	
③	建築・都市計画に関する専門性・資格等（建築士、技術士）	
④	不動産に関する専門性・資格等（宅建）	
⑤	保健・医療に関する専門性・資格等（医師、看護師、リハビリテーション）	
⑥	金融に関する専門性・資格等（ファイナンシャルプランナー等）	
⑦	法律・法務に関する専門性・資格等（弁護士・司法書士）	
⑧	起業・経営に関する専門性・資格等（中小企業診断士等）	
⑨	外国人支援に関する専門性・資格（通訳、語学、日本語教師等）	
⑩	子どもに関する専門性・資格（保育士・教員免許等）	
⑪	その他	
⑫	上記に当てはまるものはない	

「⑪その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

（自由記述）

設問4 貴団体の居場所支援に協力を得ている、外部の専門家等が持つ専門性・資格等について、当てはまるものをすべてご回答ください。(複数回答可)

		○印記入欄
①	福祉に関する専門性・資格等（社会福祉士・精神保健福祉士等）	
②	ボランティア・市民活動等に関する専門性・資格等（ボランティアコーディネーター等）	
③	建築・都市計画に関する専門性・資格等（建築士、技術士）	
④	不動産に関する専門性・資格等（宅建）	
⑤	保健・医療に関する専門性・資格等（医師、看護師、リハビリテーション）	
⑥	金融に関する専門性・資格等（ファイナンシャルプランナー等）	
⑦	法律・法務に関する専門性・資格等（弁護士・司法書士）	
⑧	起業・経営に関する専門性・資格等（中小企業診断士等）	
⑨	外国人支援に関する専門性・資格（通訳、語学、日本語教師等）	
⑩	子どもに関する専門性・資格（保育士・教員免許等）	
⑪	その他	
⑫	上記に当てはまるものはない	

「⑪その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

## II-3 支援内容について

設問1 貴団体が支援している居場所のうち特に多いものについて、A～Dそれぞれの該当する箇所にチェックをしてください。(複数回答可)

### A. 開設状況

- 定期
- 不定期
- 場所が固定化されている
- 場所が固定化されていない
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

### B. 会場

- 公共施設の貸室 : 公民館、学校教室など
- 福祉施設の貸室
- 民間の貸室 : 貸し会議室、貸しビルの一室など
- 店舗
- 民家 : 住み開きなど
- 空き店舗
- 空き家
- 屋外の施設・スペース
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

C. おもな利用者層

- 多世代・誰でも
- 高齢者・シニア
- はたらく世代
- 大学生
- 中高校生・若者
- 子ども : おもに小学生
- 幼児と親
- 外国にルーツのある人・子ども
- 認知症の人
- 障がいのある人・子ども
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

D. おもな活動内容・プログラム

- 交流の場・サロン : おしゃべり、気軽な相談など
- 子ども食堂・地域食堂 : 子どもや地域の人へ無料または低額で食事をする場の提供
- コミュニティカフェ : 交流の場としてのカフェ
- 学習支援の場 : 小中高校生対象
- 学びの場 : 日本語教室、スマホ教室、創作活動など
- 趣味の場 : 健康麻雀、音楽鑑賞など
- 健康づくりの場 : 介護予防、まちの保健室
- コ・ワーキング
- 福祉作業所 : 障害のある人がはたらく場
- 利用者限定の居場所 : 認知症と家族、ひきこもり、LGBTQ などの当事者など
- オンライン上の交流 : Zoom、メタバース等
- お祭り・交流イベント
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

設問2 貴団体にて現時点では関わっていないが、今後関わりを持つ可能性があったり、関わりたい利用者層がありましたらご回答ください。

(自由記述)

設問3 貴団体が行っている支援について該当するカ所にチェックをしてください。(複数回答可)

A. 相談受付

- 立ち上げ相談
- 開設後の運営相談
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

B. 活動への助言の機会

- 来所時に助言
- 個別の団体の会合に参加して助言
- 協議の場を設定して助言
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

C. 会場面のサポート

- 貴団体の会場貸出し
- 他会場の紹介
- 会場探しの助言
- 会場所有者の仲介
- 会場候補の情報収集
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

D. 資金・物品面のサポート

- 貴団体の補助金・助成金制度の活用
- 他組織の助成事業の紹介
- 寄付物品の受付・保管
- 寄付物品の分配
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

E. 人材面のサポート

- 貴団体とつながりのあるボランティアの紹介
- 貴団体の専門家派遣
- 外部の専門家派遣
- 他活動団体・自治体等窓口の紹介
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

F. 広報面のサポート

- 貴団体の情報誌や WEB に掲載
- 他団体の情報誌や WEB に掲載
- 居場所・拠点専用の冊子やマップの制作
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

G. 上記以外のサポート

- 機材の貸出し
- 活動プログラムへの助言
- 運営への助言
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

H. 普及啓発・ネットワーク

- 居場所に関する講座・見学会の開催
- 居場所団体間の交流会の開催
- 居場所の実態調査
- 居場所の団体登録・リスト管理
- その他

「その他」をご回答いただいた方へ

具体的にご記入ください。

(自由記述)

I. その他

(自由記述)

設問 3 で「D 資金・物品面のサポート  自組織の補助金・助成金制度の活用」にチェック

クいただいた方へ

→アップロードまたは郵送にて補助金・助成金制度の要綱のご提出をお願いします。

設問 4 居場所支援に取り組んでいる上で、以下の A~E のうち、現時点で不足している資源の状況を「支援する立場」「運営する立場」のそれぞれから具体的にご記入ください。

A. 人材

具体的にご記入ください。

(自由記述)

「支援する立場」

「運営する立場」

B. 物資

具体的にご記入ください。

(自由記述)

「支援する立場」

「運営する立場」

C. 資金

具体的にご記入ください。

(自由記述)

「支援する立場」

「運営する立場」

D. 情報

具体的にご記入ください。

(自由記述)

「支援する立場」

「運営する立場」

E. 会場

具体的にご記入ください。

(自由記述)

「支援する立場」

「運営する立場」

設問5 上記以外に居場所支援に取り組んでいる上での課題についてご記入ください。

(自由記述)

設問6 設問4、設問5で回答いただいた課題に対して、工夫されていることがあればご記入ください。

(自由記述)

### Ⅲ 支援している居場所とその周辺の状況について

設問1 貴団体で把握している、支援していないものも含めた居場所のおおよその数をご回答ください。

設問2 支援している居場所のうち特に先駆的なケース、紹介したくなるようなケースについて、名前をご記入ください。

設問3 設問2で回答いただいた居場所について、支援内容を以下の各欄にご記入ください。

※支援内容が分かるような資料がありましたらアップロードまたは郵送でご提供ください。

※URLがありましたら以下にご記入ください。

(自由記述)

団体が居場所を開始した動機と、関わり始めたきっかけ、期間をご記入ください。

(自由記述)

居場所のある会場をご記入ください。

(自由記述)

担い手（リーダー層）や利用対象者についてご記入ください。

(自由記述)

資金や協力者の集め方についてご記入ください。

(自由記述)

広報についてご記入ください。

(自由記述)

その他、上記の回答に補足があればご記入ください。

(自由記述)

設問4 鑑文に記載の通り、本調査では、居場所が地域の多様な人たちが孤立しないためのひとつの方法になり得ると考えています。貴団体において、孤立している/しそうな人に対して、できることや、つながりづくりに対する考えがありましたらお聞かせください。

(自由記述)

調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。